

日本スポーツ少年団等における暴力行為根絶に向けた取組み
(平成 28 年度)

「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」 (平成 25 年 7 月 24 日策定)	<p>〔認定育成員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団「認定育成員」研修会の教材として「同ガイドライン」を活用する。 <p>〔各都道府県・市区町村における指導者研修等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本体育協会ホームページから「同ガイドライン (PDF)」をダウンロードし、各都道府県・市区町村における指導者研修会等の教材として活用を奨励する。
---	---

情報誌「Sports Japan」を通じた暴力行為防止等の啓発への取組み	企画ページや JASA インフォメーションページにおいて、関連記事・情報を掲載し、暴力行為根絶に向けた周知啓発を行う。
--------------------------------------	---

名称	内容
スポーツ少年団認定育成員研修会 (全国 10 会場) H28.10～11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」を配付、説明を行い、スポーツ少年団活動現場における暴力行為根絶に向けた周知啓発を行う。 ・研究協議(分科会)のテーマの一つに「子どものこころとからだを育む指導法」を設け、暴力のない適切な指導法について参加者同士が意見交換を行い、スポーツ少年団指導現場における暴力行為根絶への共通理解を深める。
スポーツリーダー養成講習会兼 スポーツ少年団認定員養成講習会 (全国 300 会場予定) H28.4.1～H29.2.28	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度に講習会テキストを改訂し、「指導者の役割 I」に「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」から引用した「スポーツ指導者の倫理」に関する項目を新たに加え、スポーツ少年団活動現場における暴力行為根絶に向けた周知啓発を行う。
第 21 回スポーツ少年団指導者 全国研究大会(東京都:400 名予定) H28.6.26	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演を「新しい時代にふさわしいジュニア期の指導法～スポーツにおける暴力行為根絶を目指して～」のテーマで実施し、暴力を伴わない指導のあり方について共通理解を深める。
平成 28 年度ジュニアスポーツの 育成と安全・安心フォーラム (東京都:150 名予定) H28.12.4	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションにおいて、法学・心理学・指導法等の専門家をパネリストとし、スポーツ界における暴力行為根絶に関するテーマで情報提供を行い、暴力を伴わない指導のあり方や、発生時の様々な対応について共通理解を深める。
日本スポーツ少年団 LIVE ON SEMINAR (1 回) H28.7.16	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団活動の理念とともに、暴力行為根絶に向けたメッセージを日本スポーツ少年団本部長から発信する。 ・情報提供の一つに「アンガーマネジメントについて」を取り上げ、暴力行為に至らないようにするための感情のコントロールについて学ぶ機会を提供する。 ・都道府県内での研修に活用いただけるように、希望した都道府県へセミナーの内容を収録した DVD を送付する。

名称	内容
シニア・リーダースクール (静岡県：140名予定) H28.8.4～8	・ 将来的にスポーツ少年団活動を担う参加者（義務教育を終了し20歳未満）に対し、指導者としての心構えをレクチャーする。
第54回全国スポーツ少年大会 (香川県：432名予定) H28.7.28～31	・ 参加者（小学4年生から中学3年生の団員及び指導者）に対し、フェアプレイキャンペーンについて説明し、全参加者にフェアプレイ宣言を推奨する。
第38回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会（滋賀県：256名予定） H28.8.5～8	・ 参加団員及び指導者に対し、フェアプレイキャンペーンについて説明し、全参加者にフェアプレイ宣言を推奨する。
第38回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会（埼玉県） H28.8.5～8	・ 参加団員及び指導者に対し、フェアプレイキャンペーンについて説明し、全参加者にフェアプレイ宣言を推奨する。
第39回全国スポーツ少年団剣道交流大会（愛知県：384名予定） H29.3.25～27	・ 参加団員及び指導者に対し、フェアプレイキャンペーンについて説明し、全参加者にフェアプレイ宣言を推奨する。
第14回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会（福井県：870名予定） H29.3.25～28	・ 参加団員及び指導者に対し、フェアプレイキャンペーンについて説明し、全参加者にフェアプレイ宣言を推奨する。
ガイドブック「スポーツ少年団とは」 H28度発行／50,000部（予定）	・ 「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」を掲載する。 (都道府県・市区町村スポーツ少年団、各単位団へ配付) (本会ホームページからダウンロード(PDF)での取得可)
スポーツ少年団指導必携書 20,000部（予定）	・ 「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」と「スポーツ少年団登録者処分基準」を掲載する。 (認定員新規資格取得者、認定育成員再認定者へ配付) (本会ホームページからダウンロード(PDF)での取得可)